

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/24 ～2018/08/31)

1. 勉学の状況

さて、今月からいよいよ私のアメリカでの生活が始まりました。しかし授業は来月からということで本格的な勉強はこれからです。ということで今回はまず、私がアメリカ留学を決めた理由から説明します。私は二年生の夏休みにカンボジアにボランティアに行きました。その時英語がペラペラの大学生が2人いました。私は彼らのように英語が話せるようになりたいと思い、英語しか通じない場所で過ごす経験を積みたいと思ったのが留学を志す最初のきっかけです。いくつか候補はありましたが、私は一年生の時から経営に興味を持ち、自分の選考とは異なる学問を留学先で学ぼうと思いました。自分は留学ならやっぱりアメリカだろ！という固定観念があったため、留学先はアメリカに絞って考えていました。ただもう一つ大事な理由として、私はかねてからビジネス、とくにマーケティングに興味があり、本場であるアメリカで学びたいと考えていました。アメリカでは日本よりも起業を支援する精神が強いイメージがあり、アメリカの大学の学生起業団体に入り、同じ志を持つ仲間と活動をしたいとも考えています。そんなわけで、私はこのウィスコンシン大学ミルウォーキー校に交換留学生として学びに行くことになりました。

とはいえ、まだ肝心の授業が始まらず教科書もないため、やや手持無沙汰の日々を送っております。少しでも英語が使えるようになるために、日本にいる間 LEX プログラムでお世話になったメキシコからの留学生（彼女は7月終わりに帰国しました）に自分が見た TED の内容の要約を送って添削してもらっていました。こちらに到着してからはすべてが英語で毎日本当に鍛えられています。特にルームメイトと会話することで、日常的に使う英語を学んでいると思います。この一週間で、Thank you よりも “Thanks”、Have a good day!といわれたら” You too.” と返すのが一般的、すごい、と表現するのに “awesome” も使える・・・と、実にたくさんの表現を知りました。また、大学の union（千葉大の生協みたいなもの）においてある英語の新聞を部屋に持ち帰って暇な時に読んだりしています。たくさんの表現を覚えて、英語を聞く耳を鳴らして、少しでもみんなの会話に追いつけるようになりたいです。

2. 生活の状況

次に出発から現在までの出来事についてお伝えします。私は24日、学校のピックアップサービスを利用して大学の寮(Sandburg)に行きました。日本時間17時55分発、現地時間15時45分発のアメリカンエアラインで向かいました。当日は銀行に行く用事があり家を出るのは予定より少し遅れましたが、半年チューターをしていた韓国人留学生に見送られ、無事シカゴオヘア空港に到着しました。しかしピックアップサービスは17時までだったにもかかわらず到着遅れて

16時過ぎになり、さらにアメリカは入国審査で簡単な面接が行われるため、1時間近くかかり、17時に間に合いませんでした。その日は9時から17時までピックアップを行っていたのですが、あとから日本人学生にきいた話だと朝の9時ごろに到着した子たちは午前と午後便一便ずつしかなく正午に到着する人がいたため三時間くらい空港で待たされたそうです。一方私は後数分遅れたらおいて行かれていたそうなので、遅くとも15時には着けるようにしたいですね。その日は17時過ぎにオヘアを出発し、金曜日で道も混んでいたため、寮についたのは21時近くでした。体力的にもかなり疲れていたもので荷物の整理もそこそこに寝てしまいました。しかし時差もあり次の日は4時くらいに起きてしまいました。ただ思っていたよりも時差ぼけはありませんでした。二日もすればすぐになれました。

25日はInternational studentのためのキャンパスツアー、およびショッピングツアーに参加しました。学校がバスを出してくれてありがたくはあったのですが今しか買えないかも、と思い、つつい余計なものまで買ってしまった気がします。もちろん荷物になるものなどは買ってもいいと思うのですが、あとで自分で買いに行くこともできますし、私は数日後にルームメイトの家族に近くのウォルマートに連れて行ってもらったので、そこで全部変えそろえるというよりは、生活する中で足していけばいいと思います。(ルームメイトが持ってるということもありますし。)この日はマレーシアから来た子と知り合いになれました。

26日は日本語学科の生徒のウェルカムパーティに参加しました。そこで日本から来た交換留学7人、またuwuから千葉大学に来ていた留学生に会いました。その日は初めてバディにも会い、アパートに招待してもらいました。(バディは日本にいたときにコーディネーターから送られてきたメールでアンケートに答えると自分に合った人を紹介してもらえます。)彼女は高校生の時和歌山にホームステイをした経験があるようで日本語も理解できます。私がどうしても理解できないとき彼女が少しでも日本語を使って説明してくれるため、ありがたいです。でもそれに甘えたくないです。というのもバディの友達から your English is very well! と言われたのですが。私の拙い英語でそう言ってくれるのは、日本人がいかに英語を話せないかを物語っていると感じてしまったのです。私がいるときだけわざとゆっくり話してくれるのはありがたいですが同時に悲しく悔しさも感じます。この数ヶ月で少しでもナチュラルスピードに追いつけるよう頑張りたいです。

27日は特に何もなかったのですが、午前中にIDカード(学生証のようなもの)をもらいに行き、午後はバディと、メキシコ料理を食べに行きました。美味しかったのですが値段が高い上にチップを払わなければいけないことにショックを受けました。ですが日本と違いウェイトレスが料理どう?とききにきたり、食べきれなかったら持ち帰ってよいことを知りました。その後マックに行き1ドルのドリンクバーをたのみました、スタッフは黒人ばかりで皆座って話しているようでした。日本との違いを知ることができとても面白いです。

28日、自分の部屋のルームメイトが午前中に一斉に来て落ち着きませんでした。特に驚いたのは私以外の全員が保護者と来ていたことです。みんな車で送ってもらっていたため、大量の荷物を持って来ていて驚きました。私は同じ部屋のKyahと部屋のアレンジをした後、お昼にメキ

シコ料理を食べてからウォルマートに買い物に出かけました。夜には East tower のミーティングがありました。私は全然内容を理解できませんでしたが、Kyah が助けてくれてとても助かりました。

30 日、交換留学生用のオリエンテーションがありました。そこではじめて交換留学生のメンバー全員と出会いました。そこで感じたのが、意外と交換留学生の数が少ないこと、またほとんどの人が英語のレベルが高いことです。日本人学生と帰り際に、「自分たちは英語が拙くて輪に入れない」と嘆いていました。本当に悔しかったです。ヨーロッパ勢が自分らで盛り上がっているのを見ると、疎外感しか感じないです。しかし今日はルームメイトと近くの教会に行つて Newman のイベントに参加しました。Tamales というメキシコ料理と popsicle というアイスクリームを食べました。現地で kyah に会い、自分のこれまでの生活について話しました。彼女がまだ 18 歳ときいて私はとても驚きました。

31 日、日本でいう 100 均を探し求めて初めて citybus を利用しました。ただ、乗り場がどこか分からなくとかなり苦労しました。なぜバス停よりも先のところで止まるのか。とてもわかりづらい。運転手がちょくちょく変わる。降車場所はバス車内にある紐を引っ張ることで知らせる仕組みでした。ダウンタウンの方に行ったが、雰囲気は大学周辺と違い、ややごみごみした印象でした。慣れないことをして疲れた、と話したら午後はスートメイトの一人が近くのショッピングモールまで連れて行ってくれました。こちらに来て初めて大きなショッピングモールを見ることができとても満足しました。Forever21, GAP, M&A など洋服屋がたくさんあるので暇なときに行くといいかもしれません。

日々の出来事をざっとまとめるとこんな感じです。今月は授業が始まっていないため毎日書く余裕はありましたが来月からはもう少しまとめた形にしようと思います。なお、私は荷物を少なくした結果、日本で使っていたキッチン用具、洗濯用具、ドライヤーなどかなり多くのものを置いてきてしまいました。そのためこちらで初期費用が多くかかってしまいました。荷物は先にまとめて送ればこっちでそろえるのと費用では大差ないと思います。ですから先に荷物をおくるか、冬物はあとでまとめて送ってもらうのがよいかと思います。また、私は初日に夜遅くについて寮のカフェも空いていない、近くのお店もわからないという状況に陥ったため、セブンイレブンでおいしくないパンを買い飢えをしのぐ悲しい経験をしました。もし可能であれば、現地に到着してから二回分の食事（コンビニのおにぎり、パンなど）を持っていくことをお勧めします。非常食は大切です。

それでは、来月もよろしくお願ひします。

自分の生活する Sandburg。

四つの棟があり、自分はキッチン付きの East tower に住んでいます。



キッチンの様子。炊飯器はこちらの Target というお店で買いました。日本円で約 3000 円でした。キッチン用品は基本こちらで揃えられますが、箸がないです。箸を使いたい人はぜひ、もって行ってください。お米もこちらのものはばさばさしていてタイ米みたいです。もっていった日本のだしの素とみそを重宝しています。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/01 ～2018/09/30)

1. 勉学の状況

今月からいよいよ大学での授業が始まりました。私はもともと経営学を勉強するつもりでいたので自分の専攻は Business Administration と出会った人には言っています。ただ、三年生の前期に千葉大学で履修した英米法の授業をきっかけにアメリカの歴史、とりわけ先住民の歴史に興味を持ちました。そしてどうせアメリカに行くなら本家でアメリカ先住民についても学ぶことにしました。というわけで私はマーケティング原理、組織論、アメリカインディアンスタディーズ入門、ウィスコンシンヒストリー、そしてヨガ、ヘルシークッキングの全部で6つの授業を履修することにしました。

授業全体についてですが、予想通り、全くついていけません。スロースピードでかろうじて英語が聞き取れるくらいの私の英語力では、正直歯が立ちません。授業が始まって一週間目、先生が何を言っているか全くわからない、いきなり生徒が手を挙げて発言する、毎回 40-50 頁出される大量の課題（もちろん全部英語！！）…ある程度は予想していましたが、何を言っているか全然わからない授業を 50 分ないし一時間聴くのはそれだけでつらいです。ほかの日本人留学生の友達とも会うたびに「課題多くない??…がんばろ…」と励ましあっています。

最初の一週間が終わって、私は「アメリカに来る前に、もっと努力すべきだ」と反省すると同時に、「でも来てしまったのだから、今からできることを考えよう」と辛いなりになんとか良い方向に頭を切り替えようとしています。ユーチューブで「留学生あるある」と検索すると、留学した日本人の多くが私と同じような悩みを抱えていることがわかりました。そこで私はこの状況を打開しようといくつかの試みを行っています。そのなかでも皆さんにお勧めするのが次の方法です。まず、授業の録音をして授業後その録音を一度聞きます。次にわからなかったところを友達にも聞いてもらい解説してもらいます。そして再度自分で聞き理解度を高めます。私はこれをウィスコンシンヒストリーの授業で試しています。これはユーチューブ等で投稿されている英語の映像を使えば、日本で英語を学んでいるときも試せると思います。こちらにきてから英語力を伸ばそうと思っても、授業でつまづいてしまうので、本当に日本でできる勉強は日本でやっておくべきだったと、反省しています。

特に私の場合は半期しかいないので、一週間は早く授業に慣れなければ…！と必死でした。そのせいもあってか、二週間目はなんだか気疲れかそれとも気が抜けたのか、課題をやる気になれませんでした。ルームメイトに通じない日本語を話して一人で愚痴ったりしていました。ただ、三週間目になってようやく授業のペースがつかめてきました。もちろん、英語はまだまだ聞きとれませんが、こちらの友達に助けてもらいながら日々頑張っています。こちらにきて早一か月、あと三か月でどれだけ自分の英語力が伸びるのか楽しみでもありますが、それと同時にほとんど成

長できずに帰ることになるのではないかという不安も一方であり、日々このような錯綜した気持ちと戦いながら講義に臨んでいます。

Schedule	Monday Sep 10	Tuesday Sep 11	Wednesday Sep 12	Thursday Sep 13	Friday Sep 14	Saturday Sep 15
08:00						
09:00						
10:00	BUS ADM 360 - 404 Lecture 10:00 - 10:50 Lubar Hall S151	AI5 101 - 401 Lecture 10:00 - 10:50 Curtin Hall 175	BUS ADM 360 - 404 Lecture 10:00 - 10:50 Lubar Hall S151	AI5 101 - 401 Lecture 10:00 - 10:50 Curtin Hall 175		
11:00					BUS ADM 360 - 603 Discussion 11:00 - 11:50 Lubar Hall S341	
12:00		AI5 473 - 001 Lecture 12:30 - 13:45 Lubar Hall S220		AI5 473 - 001 Lecture 12:30 - 13:45 Lubar Hall S220		
13:00					BUS ADM 330 - 610 Discussion 13:00 - 13:50 Lubar Hall S191	
14:00	BUS ADM 330 - 405 Lecture 14:00 - 14:50 Lubar Hall S151		BUS ADM 330 - 405 Lecture 14:00 - 14:50 Lubar Hall S151			
15:00						
16:00	SPT&REC 291 - 161 Lecture 15:30 - 18:20 Saint Mark's Episcopal Church KIT	SPT&REC 112 - 337 Lecture 15:30 - 16:50 Greene Hall 148	AI5 101 - 603 Discussion 16:00 - 16:50 Northwest Quadrant 0288	SPT&REC 112 - 337 Lecture 15:30 - 16:50 Greene Hall 148		
17:00						
18:00						

これは私の時間割です。私のとっている授業は基本的に講義が週二回、ウィスコンシンヒストリーを除いてディスカッションが週一回の計週三回が基本です。課金なしに授業をドロップアウトできるのは10月1日までですが、交換留学生はとれる単位数は一セメスターで最低12単位、最高18単位までとなっています。こちらでは基本一授業3単位なので、4コマとれば条件はクリアできます。もちろん授業によって難易度に差はあると思いますが、私は経営の授業は二つとも300番台（こちらの学生で3年生相当の授業）、知識のないアメリカンヒストリーは100番台と400番台をとり、これだけでもけっこういっぱい입니다。おそらく留学生の大半は4コマが平均で5コマとればだいぶきついと思います。また、私は一セメスターしかいないので英語の授業はとりませんが、日本人学生の多くは英語の授業を取っているようです。ここで多くの留学生と知り合えるようですが、課題も多く結構大変なようです。

一つアドバイスとして、やはり何の知識もない科目をとるのはきついです。もしとるのであればイントロダクションを選択する、また上級の授業を取る場合は日本語の文献を先に読んだり、ネットで知識を得たりしておくことを強くお勧めします。

2. 生活の状況

上にも述べたとおり、平日は特に授業の準備で忙しくなってきました。それでも日本にいた時と変わらず、朝起きて朝ご飯を作って食べて、ランニングに出かけ、それから授業に行きます。そのため、アメリカ人と比べれば極めて健康的な生活を送っていると思います。ルームメイトもアルバイトを始めたようで、最近は部屋にいないことが多くなってきました。心配していた寮での共同生活ですが、今のところは大きなストレスなく過ごせています。一つ不満を挙げるとすると、ルームメイトがおしゃべり好きで、二、三日に一回は10時以降もキッチンで話していることです。私の部屋はキッチンに一番近いのでそれが原因でたまに眠れないこともあります。最初は我慢していましたが、これは自分で言わないとダメなんだ！！と決意、勇気をふりしぼり、静かにしてくれと伝えました。すると、だいたい自分の部屋で話してくれるのでやはり自分の気持ちを言葉で伝えることが大切だと思います。また、ルームメイトがとにかく怠惰です…。キッチンに皿を置いたままいつまでも洗わない、メガネ、鍵、カバンに携帯、あらゆるものをあらゆるところにおいて部屋もぐちゃぐちゃ、そして洗濯をためる。まあ、日本人に比べれば少し怠惰な部分もあるのかもしれませんが。もちろん、人によると思います。日本人にもそういう人はたくさんいますし、アメリカにもきれい好きな人はいますからね。

休日は勉強もしますが寒くなる前に色々な所に出かけようと思い、毎週どこかに出かけるようにしています。9月の前半までは学校側がフレッシュマン（新入生）のために色々なイベントを開催してくれているので、それに参加しました。（サッカーやバスケの試合を見に行けたり、市内巡りできるツアーもありますが、それらは無料で参加できるため人気なものは受付一時間半前にもう長蛇の列ができていました。）私はボートツアーに参加したり、動物園に行ったり、また最初の週にはパンサーフェスタというイベントがあり、近くの公園で行われたライブを楽しみました。また個人的にバディとミルウォーキー美術館に行ったり、ルームメイトに送ってもらってイリノイまで友達に会いに行ったり、休みの日もたくさんの場所に行って楽しく過ごしています。平日は図書館でみっちり勉強し、休日は思いっきり遊ぶスタイルで9月は過ごしております。



これは学校の図書館です。月曜から木曜は朝7時半から夜11時まで、金曜は朝7時半から夜7時まで、土曜日は朝11時から夜7時まで、日曜日は朝11時から夜11時まで開館

しています。一階にカフェがあり、多くの人利用しています。私はまだ利用したことがありませんが、パソコンやアイパッド、レコーダーが借りられるようです。

ちなみに私が一番驚いたことは、日本と違って図書館でも生徒が平気でパンやお菓子を食べているところです。これは授業中でもかまわず行っており、アメリカの学生の授業態度の悪さは残念な方のカルチャーショックかもしれません。一方で誰も寝ている人がいないのは、いい方のカルチャーショックですね。(おそらく寝るくらいつまらない授業は出ない方がまし、という考えなのでしょう。)



ミルウォーキー市内の図書館。寮からバスで15分くらいでいけます。先週末初めて行ったのですが、建物が歴史的でとても気に入っています。日本語の漫画や小説も少し見つけ、テンションが上がりました。



ボートツアーに行ったときに撮った写真。寮からバスで15～20分で行けるダウントウンは大学周辺とは少し雰囲気が異なり、街並みがヨーロッパに似ています。ぜひ週末はダウントウンに遊びに行ってみてください。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました！！

10月はハロウィンがあります！楽しみ！

そして中間テストも…体調に気を付けて、頑張ります！！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/01 ～2018/10/31)

1. 勉学の状況

今月は受講している授業ごとに報告したいと思います。

AIS101-401 Introduction of American Indian Studies

AIS473-001 Wisconsin History

ネイティブアメリカンについての授業です。101 は週に二回座学、週に一回ディスカッションのクラスがあります。473 は週に二回の座学のみです。どちらの授業もほぼ毎回 30 ページくらいの参考文献が課題としてあげられます。これまでの授業で、文化の 3 要素、ネイティブアメリカンの Creation Story、ネイティブアメリカンとアメリカ革命との関係などを学びました。どちらの授業も基礎知識がない私にとっては理解が難しいため、introduction の方は同じ授業で日本語を学んでいる学生と一緒に受けて助けてもらっています。また、Wisconsin History の方もアメリカの友達に授業後レジュメをもとにしながら、私が理解するのを助けてもらっています。

もともと多様なアメリカの民族について学びたいと思って受講した授業ですが、思った以上にきついです。やはり基礎知識がないのは大変ですね。それでも introduction で学んだことと 400 番台の授業での学びが重なることがあり、その範囲については何となく理解ができています。

BUS ADM330-405 Organization

BUS ADM360-404 Marketing

自分の専攻（のはず）のビジネスの授業です。300 番台ですが、ネイティブアメリカンの授業に比べると正直かなり楽です。Organization のクラスでは、基本的にまず教授が教科書のテーマに関連した話（Team Motivation, Stress など）をします。その後、三人くらいのグループになってそのテーマについて 5 分から 10 分程度話し合い、最後に意見を紙に書いて提出します。また、Marketing は D2L（千葉大の Moodle のようなもの）にあらかじめアップされているレジュメをもとに講義が進められます。毎回 20 枚ほどのスライドが用意されるので、それを授業前に読み、大体の内容を把握したうえで講義にのぞみます。そして授業後は Ebooks も読みながらもう一度復習します。Organization は毎週のノート提出に加え、二、三週間に一度、プロジェクトの課題が課されます。今のところ二つのプロジェクトを提出しました。一つは自己紹介の動画撮影、もう一つは自分の目標とそれに向けての取り組みとその分析について、スライドを動画にして提出するものでした。この課題により、初めて自分の動画を youtube にアップする経験をしました。

SPT&REC 291-161 Healthy cooking

近くの教会のキッチンで毎週クッキング！おいしい料理を楽しんでいます。

SPT&REC 1 1 2 - 3 3 7 YOGA1

週に二回授業があります。一日のリラックスタイムです。。

2. 生活の状況

(衣服)

10月に入り、だいぶ寒くなってきました。それでもこちらの人にしてみれば、これはまだ秋なのだそう…。信じられません。手袋とこの時期に合うコートを持ってこなかったのがこちらで愛用しているウォルマートで購入しました。ちなみにウォルマートはバスで10分くらいで行けます。私の場合は日用品は大体ウォルマートで購入しています。この時期にはくズボンもあまり持ってこなかったのが、ウォルマートでひとつ調達しました。アメリカのものはいつも基本大きくて合わないな、と思っていましたが、ズボンだけは太ももの太い私に合うものが見つかり、アメリカに来て初めてアメリカのビックサイズの良さを味わいました。

また、アメリカの学生は日本の学生に比べて着るものにこだわらない傾向が強いです。ジャージやよくわからないTシャツを着ている学生もちらほら見かけます。その着飾らないラフさもこちらに来てよかったことの一つですね。

(食材)

日用品はウォルマート、と書きましたが食材だけはメトロマーケットで購入しています。こちらでもバスで10分ほどです。ウォルマートは安い分やはり質がまいちなので。私が特に好きなのはメトロの12個で0.9ドルの卵です。日本に比べるとかなり安い！！こちらに来てからも卵は毎朝焼いて食べるので、とても助かっています。野菜、肉は基本的に大きくて、安いと思います。でもたまに値段がよくわからないものがあります。とても困ります。この間は1ドルだと思って買ったチョコレートがレジに行ったら4ドルだとわかり、キレそうでした。

もっとわかりやすくしてほしいなあ…と思います。

また、学校から歩いて3分くらいのところにあるUCM(University Christian Ministries)では、毎週月火水のお昼と水の夕方にフリーミールが提供されます。木曜の夕方はその隣のCorner Houseでワークショップを行った後に、夕ご飯が無料で食べられます。おそらく本来の目的はキリスト教の布教だと思うのですが、キリスト教を信仰しているかどうかに関係なく、多くの学生が来ています。これはお金のない留学生にとって、とてもありがたいことです。さらにそこで知り合ったコロンビアの学生が、金曜日の夜に近くのお家で行われるインターナショナルのパーティーを教えてくださいました。そこにはUWMだけでなくほかの大学の学生やWorkerの人もきており、とても楽しいです。UWMではアメリカ出身の学生が多いので、このようにアジアやアフリカ、南米出身の人と知り合える場はとても貴重です。

(寮生活)

外は寒いですが、部屋の中はとても暖かいです。起きた時に掛布団が床に落ちていることもしばしばあります。10月最後の週は、中間テストのエッセイのせいか、それとも暑かったからか、夜中に起きて寝られなくなった日が続いて少しつらかったです。また、例の私のルームメイトですが、10月に入ってから体調がどうもよくないようです。一度超低血圧になり病院に行きました。それを反省してか、生活が不規則になりがちなレストランマネージャーのアルバイトはやめたようですが、部屋の中でのボーイフレンドとの電話が一層増え、10月初めに私はついにルームメイトに軽くキレてしまいました。ルームメイトとの生活はやはりトラブルがつきものですね。とはいっても、彼女は生活習慣を除けば本当にやさしい子で、私が英語で困ったことがあればいつも助けてくれます。今月はいくつか課題でエッセイを書かなければならなかったのですが、彼女がスペルミスをチェックしてくれたおかげで、ほぼ満点の点数を取ることができました。「静かにしてくれ」と言えばヘッドフォンを使ってくれますし、夜も私が「I will go to bed.」というと、OK.と言って外に出してくれます。ほかのスートメイトともあいさつしますし、時々キッチンで話します。ネイティブの学生と生活すると、日々英語に接することができるので、その良さを最大限活用していきたいです。

(課外活動、イベント)

10月になり寒くなったので、外ではなく基本ジムで走っています。10月になってから初めて学内のジムに行ったのですが、毎日いろいろなメニューのトレーニングが行われており、それに通うのに、はまっています。筋トレやヨガ、ボクシングなどがあり、ヨガ以外は無料で受けられます!! 授業で受講するとお金がかかるものもあるので、私は学内ジムの groupX (筋トレ、ヨガ、ボクシングなどのメニューの総称) をお勧めします!! 二週目には学内の5K マラソンに参加しました。日本の「がんばれ」とは違う、「Good Job!」という応援がとても新鮮でした。

また、Leadership について考えるワークショップに申し込み、週に一度集まって Leader とは、Leader に必要な要素と自分自身の Leader としての経験について考えました。最初は自分の意見がなかなか言えずつらかったのですが、回が進むにつれてグループメンバーとも仲良くなり、自分の意見もつたない英語を駆使してきちんと伝えられるようになりました。自分が一体どんな人間で、どんな経験をしてきたかを言葉にして伝える機会を持つことができました。

そして週末ですが、今月もウィスコンシン州のいろいろなところに出かけました。3週目に千葉大学に交換留学に来ていた UWM の学生のお家に遊びに行ったり、4週目に千葉大学から同じく UWM に交換留学に来ている方のお友達に車で3時間 (!) かかる DoorCounty まで連れて行ってもらったり、ウィスコンシンの自然を堪能しました。また、今月は近く (車で20分くらい?) のフランクリン高校で行われた JapanFesta にボランティアとして

参加しました。そこで、アメリカの学生とおにぎりを作って一緒に販売しました。予想以上に多くの日本人と出会い、実はウィスコンシンには多くの日本人がいることを初めて知りました。

最後に…10月といえば、ハロウィン。先月そう自分で書いたはずなのに、月末は中間試験とエッセイに追われ、コスプレできずに終了しました(泣)。ただ、確かにアメリカのハロウィンは日本に比べればとても盛んです。しかしルームメイトに「パーティー行くの?」と聞いても「コスチュームないからいかない。」という子が多かったです。ハロウィン当日は日本の25日のような感じで、ほとぼりが冷めてました。学生の多くは友達と遊びに行くという人が多いように感じました。私はコスプレこそしませんでした。その日に何とかエッセイを仕上げ、猫メイクをしてひそかに楽しみました^-^

今月は授業、生活に慣れる一方、やや課題に手を抜くこともあり、その結果中間に苦しむことになってしまいました。来月も課題、エッセイがいくつも控えています。日々怠ることなく、そして現状に満足することなく努めていきたいと思います。また、今月は日本人と話すことが多かったことが反省点です。ルームメイトはもちろん、同じ授業を取っている学生ともたくさん話して、もっともっと英語を上達させたいです。

今月も最後まで読んでくださり、ありがとうございました。11月も寒さに負けず頑張ります!!



先月行った Devel's Lake の写真です！この日はあいにくの雨でしたが、それでも国立公園だけあって景色はとて素晴らしいかったです！UREC (University Recreation) に申し込んで行きました。費用はお昼と送迎込みで 20 ドルです。ハイキングが好きな仲間と一緒に楽しみながらハイキングしました！



寮 (Sandburg) 内にあるジムで、寮生はだれでもいつでも (おそらく) 利用できます！ランニングマシーンが三台、サイクリングマシーンが台あり、特に夕方は結構込み合います。私は朝ここで走り、夕方か夜に Klotsche Center(学内のジムでここは UWM の学生はだれでも無料で使えます)の GroupXに参加します。



キャンパス内の風景（10月14日現在）。このように、10月にもかかわらず、すでに多くの木が紅葉しています。特にキャンパス内は自然が豊かで、朝昼、そして放課後と、写真のように天気の良い日にはこの景色を見て気持ちを和らげることができます。風は冷たいですが天気の良い日には学生がフリスビーをしていたり、近所の人が犬の散歩に来ていたり、どこか千葉大を思い出させるような雰囲気がUWMにはあります。



近くのお家の一つ。10月1日にはすでに多くのお家がこのように人形をかざり、ハロウィンを祝う姿勢があちこちで見られました。アメリカではこのように一か月前からハロウィンを楽しむ習慣があるようです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/01 ～2018/11/30)

1. 勉学の状況

今月も授業ごとに勉学の状況を報告したいと思います。

- AIS 101-400 Introduction of American Indian Studies

ネイティブアメリカンの歴史を Formative Era (コロンブスがアメリカ大陸を発見してからヨーロッパ人が植民を開始する時期)、 Allotment and Assimilation (インディアンの土地を分割するなど植民地支配が活発化する時期)、 Reorganization and Termination (インディアン民族の政府全体にまで植民支配が及び、政治的同化が進む時期)、 Self-Determination (インディアンの自治が認められ始める時期)、 Self-Governance(自治が活発化してから現在に至るまで) の5つの時代に分け、時代ごとに特徴的な出来事を学んでいます。基礎的知識がないため、初めて知る知識が多いですが、理解できない部分は教授に質問したり、グーグルで日本語検索したものを読んだりすることで、一週間以内に、新しく得た知識を習得できるようにしています。

- AIS473-001 History of Wisconsin Indians

こちらのクラスはイントロダクションに比べて一つの事件をより深掘して学びます。そのため授業の30分前に送られてくる授業スライド(教授がスライドを送るのがとても遅いのです…)は極力事前に理解し、授業中は教授の話を理解することに重点を置いています。しかし授業中、教授が非常に難解な英単語を使うため、聞き取れても単語の意味を理解できないことが多いです。そのため授業を携帯で録音し、重要かつ自分が理解できなかった部分をメモしています。その後、その部分のみルームメイトに頼み、ワードで内容をタイプしてもらっています。普段は生活態度に不満も多いルームメイトですが、英語に関しては頭が上がりません。いざというときに助けてくれる優しいルームメイトです^^先月までは授業の内容をすべて理解しようと必死でした。しかし、中間テストを終えて、すべてを理解するのではなく、重要な出来事を自分の言葉で文章化できるまで深く理解することが重要なことであり、また自分の英語を聞き取る力では日本語のようにすべてを理解することが不可能であることを悟りました。そのため、今月からは特定の年代、事件をより深く理解する勉強法に変えました。

- BUS3-4 Principle of Marketing

11月はB2B(企業対企業)マーケティング、またマーケティングの基礎である、4P(Price, Place, Product, Communication) のなかで最も重要な product について、企業がどのような戦略を使って新しい製品を作り出しているかを学びました。この授業の良さは、週二回の座学で学んだことを、週一回のディスカッションの中で、実際その戦略がどう使われているかを実践的に学べる

ことです。今月学んだ中で特に興味深かったのは、アメリカのケチャップ会社 Heinz の事例です。この会社の社長は特に新興国の市場をターゲットにし、各国の事情を考慮した商品を販売しています。具体的には、フィリピンでは人々の好みを研究してバナナから作られたケチャップを販売したり、GDP がそれほど高くないインドネシアでは小分けにしたケチャップを低価格で販売したりしているらしいです。

また、この授業はテストも 40 問の選択式で、授業の内容と毎週出される選択式の課題の内容とほぼ同じなため、それらをこなしていればそれほど難しくはありません。留学生にとってとてもありがたい授業です。

● BUS4-405 Organization

この授業は前述のマーケティングの授業に比べるとやや退屈ですが、たまに授業中にみる動画が面白いのです。11 月に見たものの中で特に面白かったのは「ストレスは健康を害するか?」というものです。その動画を見ることで、ストレスは自分がどう考えどう行動するかによって変化するものだ、ということに改めて感じました。普段出される課題に対してストレスを感じてしまいがちですが、この動画を見て、自分の学びたいことを今やっているのだから、それをストレスに感じるのではなく、もっと楽しみながらやろう!と思いました。

2. 生活の状況

11 月に入り、ついに雪が降り始めました。最低気温がマイナスになり、いよいよ本格的な冬がやってきそうです。現在の気候は日本の一月二月と同じくらいだと思います。手袋をし、腹巻をし、ハンドクリームを塗って日々寒さと乾燥と戦っています。

11 月は印象的な出来事を三つ紹介します。

一つ目は 11 月頭にキャリアフォーラムに参加するため、ボストンに行ったことです。これは毎年 11 月に開かれる、海外の大学に進学、留学する学生を対象とした就職イベントです。今年は海外で活躍する日本企業（一部は外資系企業）約 230 社が参加していました。ボストンキャリアフォーラム（略してボスキャリと呼ばれます）は留学生の間では有名なイベントで、ネットで検索すると多くの情報が得られると思います。そのため、興味のある人は早いうちから調べて対策することをお勧めします。私は本格的な就職活動は帰国後に始める予定ですが、企業の人と話せるいい機会だと思い、参加を決めました。私は「ここで内定を決める!」というほどの熱意はなかったので、金曜の夕方にボストンに到着し、土曜日のみボスキャリに参加して、日曜日は一日ボストンを観光しました。内定こそ取れなかったものの、事前に企業に提出したエントリーシートが三社通って当日は面接を受けることができ、自分をアピールするよい機会を得られました。これはあくまで私個人の感想ですが、全体的にボスキャリは海外の大学に 4 年間通う学生がメインであり、交換留学生が内定まで取るのは難しいように思います。そのため、参加したい人は内定を取るのではなく、練習の場としてボスキャリを活用するのがいいのではないかと思います。航空

券とホテルは早い時期からとらないと、直前では高額になったり予約が取れなくなったりすると聞いていたので、私は 8 月末に航空券もホテルも予約しました。ちなみに私はボスカリヤの会場からは少し離れた constitution hotel というところに泊まりました。会場まで少し遠いですが Lyft (Uber のようなものですが Uber より少し安い) を使えば 5 ドルくらいで会場に着くことができました。会場の近くは日本人学生でいっぱい宿泊料金も高めなので、金額を抑えたい人は少し遠くてもいいところはたくさんあると思います。

二つ目は Thanks giving です。これは昔ヨーロッパ人がアメリカ大陸に始めて来た際、飢えや病気に苦しんでいたところ、先住民が食料を提供し彼らを助けたことをお祝いしたことから始まったらしいです (ルームメイトが教えてくれました)。日本でいうゴールデンウィークか正月のようなもので、多くの人が家族と食事を楽しみながら休日を楽しむようです。私はこの 5 日間の休みを利用して、千葉大学で知り合ったメキシコ人の友達に会いに行きました。メキシコは治安が悪いイメージがあるせいか、家族にも友達にもとても心配されましたが、メキシコシティはだいぶ発展しており、想像したほど治安は悪くありませんでした。ただし市の中心部はオフィス街で高層ビルが立ち並ぶ一方、少し離れると東南アジアのマーケットのようで、格差が大きいと感じました。私がこのメキシコ旅行で一番驚いたのは、電車の中で一般の人が自分で作った商品を販売していることです。日本やアメリカでは見ることのできないその光景はとても新鮮であり、電車という公共機関をも一つのマーケットとするメキシコの人の考え方に感心しました。マーケティングを学ぶ上でこのような一般人の手法を学ぶのもいい勉強だと感じました。余談ですが、今回私はメキシコに行く際、アメリカ留学の証明となる DS2019 というフォームを携帯するのを忘れ、帰国時に入国審査で止められてしまいました。もしアメリカ国外に旅行することがある場合は、くれぐれもこの DS フォームを忘れないようにご注意ください。

最後に印象的だった出来事は、身近な友達との時間を大切にしたことです。11 月頭に教会で知り合った学生のお家に招待され、ちょっぴり遅ればせながらハロウィンパーティーを楽しみました。休日には、ルームメイトと韓国人の友達を誘って、バスで 20 分くらいのデニーズに行きました。その後、私のルームメイトと私の友達が仲良くなり、一緒にボーリングにも行きました。また、毎週金曜日に開かれるインターナショナルパーティー (詳しくは月間報告書 10 月参照) で知り合った日本人学生と仲良くなり、彼女を私の寮に招待し、ルームメイトを紹介したりもしました。このように、11 月も勉強をしながら交流も楽しみました。

ちなみに、11 月の私の目標は、毎日一人、新しい人と話して友達になることでした。このように目標を立てることで、自分の留学生活がより充実したものになると思うので、お勧めします！

いよいよ来月で留学生活も終わりですね！！最後まで学び続けて、日本にたくさんの学びを持って帰りたいと思います！！

3. 写真 生活編



(左) 寮のキッチンの様子。ルームメイトの中に使ったお皿を洗わずにシンクにためる人が数人おり、それをみかねたルームメイトの一人が「金曜日の朝までに片付けろ！！」という警告札を貼るといったことが起きました。私の部屋は全部で6人が同じ部屋を共有しているため、このような日常のちょっとした生活態度の違いが思わぬトラブルにもなりかねないので、気を付けるようにしています。

(右) すこし遅れたハロウィンパーティーで招かれた友達の自宅の様子。暖炉があり、絵本に出てくるようなアメリカの素敵なお家でした。

食べ物編



(左) アメリカのデニーズで食べたパンケーキ。日本の二人前はあると思います！これで1000円くらいなので、小食の日本人には値段の割に量が多く、リーズナブルかもしれません。

(右) シカゴのオヘア空港からミルウォーキーに帰る際、「MITSUWA」というスーパーマーケットのフードコートで食べた久しぶりの日本食。そばと天丼、これぞまさに日本！！というかんじですよ。この「MITSUWA」は日本のしょうゆ、みそ、魚、おかし、おにぎり、お弁当などが売っており、アメリカの食事に疲れたときにお勧めのお店です。値段はちょっと高いのですがね。

旅行編



(左) ボストンに行った際に撮った写真。実はこれ、かの有名なハーバード大学のキャンパスの一つなのです。私が今通っているウィスコンシン大学も広いと思っていましたが、ハーバード大学は比べ物にならないくらい広いです。私は参加しませんでした。毎日朝10時から夕方4時ごろまで、卒業生がキャンパスツアーをやっているらしいです。

(右) Thanks giving 中にメキシコに行ったときに撮った一枚。メキシコ人の友達お気に入りの美術館(?)で、有名な世界遺産らしいです。メキシコシティは街の中にたくさんの歴史的な建物が立ち並んでおり、散策するのにとても楽しい街です。

以上。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01-2019/01/06)

いよいよ今月が交換留学最後の月となりました。4ヶ月の留学は思っていたよりあっという間ですね。

1. 勉学の状況

今月はセメスター最後の月ということで、どの科目も最終試験がありました。ただ日本の大学と比べて普段の課題が多い分、最後の試験の重みはそれほど大きくないと感じます。また、私の受講する科目の試験は全て事前に自宅で考える形式でした。そのため、それほどストレスは大きくなかったです。インディアンスタディーズでは、先生から与えられた問題を解く形式の試験はありませんでした。その代わりに、ファイナルプロジェクトとして、私はネイティブアメリカンの伝統的な歌をみんなの前で歌いました。一方 400 番台のネイティブアメリカンの授業は与えられた 15 問のうち、10 問を選んで英語の文章で答えるものでやや負担は大きかったです。それでも中間試験と比べると、自分の英語力が上がったこともあり、それほど苦しまずにすみました。私が一番ためになったと感じたのは Organization の最終課題です。それは、ペアになってウェブサイトを作成するというものでした。初めてオリジナルのウェブサイトを作成し、とても良い経験になりました。このように、UWM の単位付与は、試験だけで可否が決まってしまう日本のシステムに比べると優しいというか、人間味のあるもののように感じました。

2. 生活の状況

試験が終わるまでは多少の縛りはあったものの、最後の月ということで、帰ってから「あれやっておけばよかった！」と後悔しないように、やりたいことを日々リストアップ化して過ごしていました。今月も印象的な出来事を 3 つあげます。

一つ目はバレエ（ダンスの方）とバスケットボールの試合を見に行ったことです。バレエは学生団体が主催するイベントの一環で、学生であればだれでも無料で鑑賞ができました。演目はくるみ割り人形で、初めて見るバレエのしなやかな動きに感動しました。一方のバスケットはインターナショナルオフィス主催のイベントを通して、見に行きました。こちらはチケット料金が自己負担でした。バスケットの試合を大きなスタジアムで見るのは初めてでしたが、正直遠くてあまりよく見えず、テレビで見ているとあまり変わらないのではないか、という印象を受けました。ただ、休憩時間に観覧者が飽きないようにコート上で賞金をかけたゲームが多く開かれており、サービスの質には感動しました。

二つ目は個人的に日本文化紹介に力を入れたことです。日本に帰国する前にもっと多く

の人に日本のことを知ってもらいたいと思い、UNION（千葉大学の生協のようなもの）の建物の一角を借りて、自分で作ったおにぎりを販売しました。立ち寄ってくれた人にひらがな、カタカナを教えたり、折り紙と一緒に折ったりして日本に興味を持ってもらえるよう工夫しました。また、月に一度開かれるだれでも参加できるカラオケ大会に参加し、日本の歌を披露しました。これらの取り組みの結果、より多くの学生と友達になり、日本のことも知ってもらうきっかけづくりができたと思います。

三つ目はクリスマス、そして冬休みです。アメリカのクリスマスは、ハロウィンと同様、一か月前からみな準備を始め、町のあちこちで日本のものの二倍はありそうなクリスマスツリーをあちこちでみかけました。クリスマス前日には友達のお家にお邪魔したのですが、たくさんの人が家に来てプレゼント交換をしていました。これを友達喜んでいましたが、一方で前々日に遊びに行った友達の家では、いつもたくさんの人が来るから、食事やプレゼントの準備が大変だと嘆いていました。余談ですが、私が毎週こちらに来てから読んでいる英字新聞の購読欄に、「クリスマスはプレゼントをもらう日だと勘違いしている人がいるが、それは間違いだ。クリスマスとは本来、キリストの誕生を祝う日であり、それ以上のものではない」と書いてありました。日本でも国民の祝日をただの休みとして捉えてしまいがちですが、これを機にその本来の意味を考えてみるのも面白いかなと感じました。また、アメリカは日本と違ってお正月ムードはそれほどなく、大晦日にあちこちでパーティーが開かれていたくらいでした。私も残り少ないアメリカの生活を楽しむために、あえて遠くに旅行はせず、毎日違う友達とご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりして過ごしました。

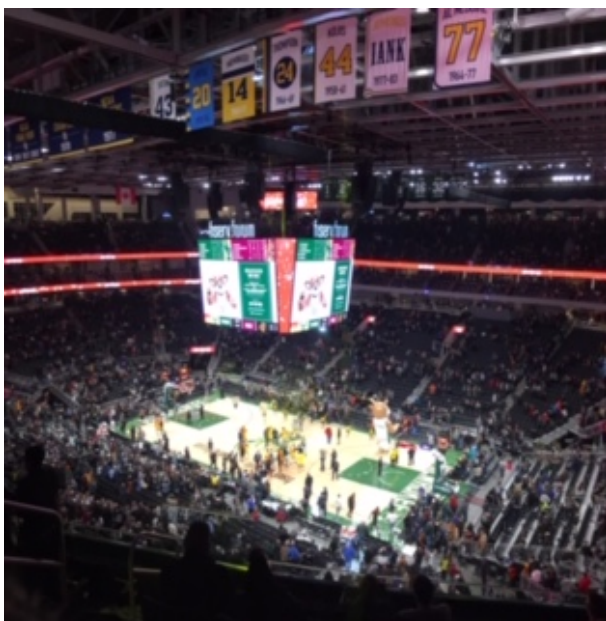
3. 写真



11月30日に寮の部屋から撮った写真。この日アメリカに来てから初めてまとまった雪が降りました。今年例年に比べて暖かいようで、私が帰る頃によりやくこちらの人が言う「冬」が訪れたようです。



学校の一角でおにぎりを販売してみました。テスト期間にもかかわらず意外と興味を持ってくれる人が多く、健康的な日本の食事はアメリカでも人気が高いことを改めて実感しました。



新しくできたバスケットボールのスタジアム。アナウンサー席もあり、かなり力を入れて作られたことが伝わってきました。ミルウォーキーに来たら、一度は行ってみるのもいいかもしれませんね。



クリスマス時期はこのようなクリスマスツリーやリースがたくさんのお家に飾られていました。さすがアメリカ、どれも大きいですね！！

というわけで、1セメスターの短い留学でしたが、総じて日々新しいことを発見し、アメリカの多様性を感じた4か月間でした！！今回の留学で、私は日本とアメリカの違いを実感するとともに、自分が日本人であることを強く感じるようになりました。そして、将来は日本の企業で、日本のよさを世界に広めることに貢献したいと考え始めました。今後は日本でマーケティングに関連したインターンを探すとともに、就職活動にも本腰を入れていきたいと思っています。最後まで読んでくださり、ありがとうございました！！